

昭和58年9月15日発行(毎月2回1日・15日発行)／編集と発行／南国市広報委員会／事務局／企画財政課企画広報係



「アユのつかみ捕り」(9月10日、国府保育所で)

——とてもおないと便利です——

あなたと市政をむすぶ★★★★★

広報 *なんこく*

9/15 1983 No.389

編集・発行／南国市広報委員会

——広報に載ったあなたの写真をさしあげます。企画広報係へお申し込みください——



感想を述べる婦人会のみなさん

参加した婦人の声

万引きについては、ゲーム（遊び型非行）のように思っている子供が多く、盗み（＝悪い）に対する意識の低さが目立つ。

対策については、地域ぐるみの非行防止に努める。北陵中、篠ヶ池中では「あいさつ運動」など、校下ぐるみで進めている。

□ねたみ差別への対策や、地域改善対策事業の進みぐあいはどうか。部落問題を頭で理解しても、肌で理解していないのが「ねたみ差別」になっていると思う。部落の実態を把握し、現実を見てほしい。

が力を入れている地域改善対策事

業なども理解が得られると思う。今年度計画している地区ごん談会などで、さらに部落問題について啓発をしていきたい。

地域改善対策事業は五十七年度から行っている。野中地区は二十三戸、七百二十戸（うち不良住宅五百四戸）、前浜地区は十三戸、二百四戸（うち不良住宅一百八十戸）で、両地区を五年間で約百三十億円をかけ、生活道の整備、不良住宅の改善などの環境整備をすることがになっている。

しかし、実際は力を入れている割には実行がなかなか上っていないので、今後も努力していく。

見が出たと思う。

●答弁が詳しく述べやすかつたが、核心に触れた時は、うまい具合にかわした答弁もあった。

●婦人会が問題提起をして、それをどれだけ取り入れられているのかが問題だ。出された問題点がどれだけ一般職員に徹底されているか疑問です。

●毎年質問に出される市民課の悩みの懇意口業務は、早く実現してほしい。

でかまわないのか。少量のゴミ用に小さい指定袋を作つてみてはどうか。

■黒瀬地区のみなさんのご理解で、迎えた。今だに恒久施設建設のめどが立っていないが、今後の見通しは…。

■黒瀬地区のみなさんのご理解で、今日までなんとかし尿処理を持ちこたえて来た。広域処理（他市町村と共に）との声もあるが、先方も苦労しており、またかなりの条件もあるので、今は申し入れをすべき時ではない。単独設置に変りはなく、二十三の候補地はあるが過去の経験から慎重にならざりえない。

□市指定ゴミ袋の使用が守られていない。スーパーの袋や市販の袋

でかまわないのか。少量のゴミ用に小さい指定袋を作つてみてはどうか。

市執行部との話し合いは予定の時間をかなり超過するなど、熱っぽく討議が行われ、参加した婦人たちの市政に対する関心の高さがうかがえました。

講評では、ある議員から「一度に何十人の婦人議員ができるところが、金利が増えているので残地に力を入れている。

財政再建は年一億円の償還計画で、金利が増えているので残地に力を入れている。

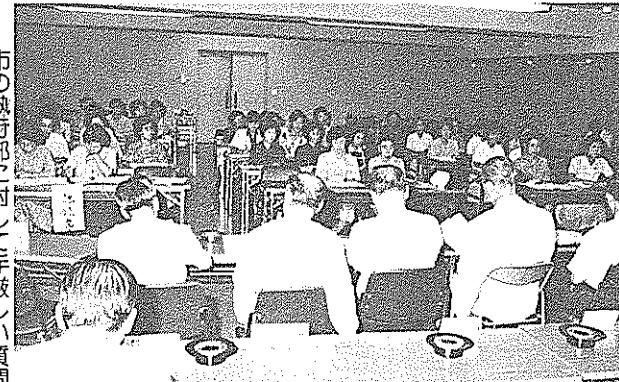
■歴史民俗資料館、文化センターの建設について見通しはどうか。新聞などで発表されたとおり、

ついでに市議選の前に「市政会議」を開いてみては……こんな意見が聞かれてきた。そして、市政会議の役員会を開くなど準備が進められた。そして、市政会議の「教科書」となるアンケート調査は百二十四人の解答を得、市民の意見や要望を集約した価値ある資料。

そのアンケート調査のつにあなたは南国市の行政についてどう感じていますか」の質問がある。答えは「やや不満」「三五%」「なんとも言えない」「一五%」「たい満足」「一九%」「満足」「一九%、「満足」」「一九%、「不満」とな

茶の間の声を市政に

議員、市執行部を前に奮闘



市執行部に対して手厳しい質問をする婦人のみなさん

午前の議員との話し合いで、婦人が議会を傍聴し勉強を深めていることもあって、なかなか厳しくは、現在三十人の議員定数について。まず婦人側から、百二十四人のアンケート調査結果では「多過ぎる」『四三%「わからない』『三〇%「適当と思う」』七%となつており、四三%の人人が多過ぎると答えている。「この結果を議員はどう思うか」と質問を向けた。

これに対して十六人の出席議員からは「十市パーカタウン、医大周辺の人□増が見込まれるのと、今の議員定数は適減が民主的行政の後退になつては大変なので、慎重に検討しなければならない」と肩透かしの弁。

い質問をしていました。その中で最も関心の高かったのは、現在三十人の議員定数について。まず婦人側から、百二十四人のアンケート調査結果では「多過ぎる」『四三%「わからない』『三〇%「適当と思う」』七%となつており、四三%の人人が多過ぎると答えている。「この結果を議員はどう思うか」と質問を向けた。

この市政会議は今年で二十三回が八月三十日、市議、市執行部、各地区的婦人代表約五十人が参加して、市役所大会議室で開かれました。市連合婦人会（西森律会長、会員約三千九百人）の自玉行事とし

連合婦人会が市政会議

この市政会議は今年で二十三回が八月三十日、市議、市執行部、各地区的婦人代表約五十人が参加して、市役所大会議室で開かれました。市連合婦人会（西森律会長、会員約三千九百人）の自玉行事とし

て、市役所大会議室で開かれました。

今年は十月に市議会議員選挙、

市選舉を控えているため、午前中は議員十六人を前にして「選舉をテーマにした質問」、午後は小笠原市長をはじめ市執行部に対する質問」を行った。

市選舉を控えているため、午前中は議員十六人を前にして「選舉をテーマにした質問」、午後は小笠原市長をはじめ市執行部に対する質問」を行った。

それぞれ展開し、婦人会独自のアンケート調査に基づく資料を携えて、議員や市執行部の考え方をただしました。

「満足」わずか2%

「やや不満」35%

で毎年行われている「市政会議」が八月三十日、市議、市執行部、各地区的婦人代表約五十人が参加して、市役所大会議室で開かれました。

市連合婦人会（西森律会長、会員約三千九百人）の自玉行事とし

て、市役所大会議室で開かれました。

今年は十月に市議会議員選挙、

市選舉を控えているため、午前中は議員十六人を前にして「選舉をテーマにした質問」、午後は小笠原市長をはじめ市執行部に対する質問」を行った。

仲良つきじく金婚式

市内では31組が迎える

夫婦力を合わせて風雪に耐え半世紀」。高知新聞社主催の「第25回金婚夫婦祝福式典」が九月一日、午後二時から県下六会場で一齊に行われました。

南国会場に於いては、本市の他に土佐山田町、野市町、大豊町など九市町村から百二十六組（本市は三十一組）が出席、盛大な祝福式典が行われました。



小笠原市長から祝福を受ける
金婚夫婦のみなさん

式典は、神事、記念品贈呈のあと、小笠原市長らからみなさんは、戰渦などの混乱期を力強く生きぬいて来られた。さらにダイヤモンド婚を目指して長生きし、後進の指導をしてください」と祝福の言葉が贈られました。

これに対し、金婚夫婦を代表し

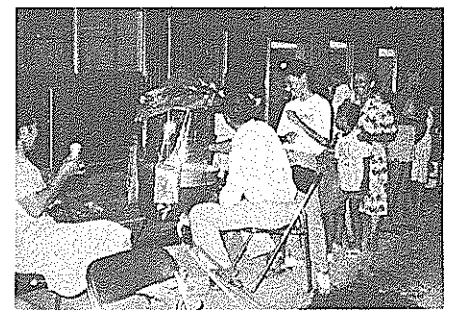
も「一生懸命張ります」と謝辞を述べました。

夫婦力を合わせて、これからも「光陰矢如、五十年をふり返つてみると、まるで昨日のようす。夫婦力を合わせて、これからも一生懸命張ります」と謝辞を述べました。

三谷巣、雪野さん（里改田）夫婦が「光陰矢如、五十年をふり返つてみると、まるで昨日のようす。夫婦力を合わせて、これからも一生懸命張ります」と謝辞を述べました。

三谷巣、雪野さん（里改田）夫婦が「光陰矢如、五十年をふり返つてみると、まるで昨日のようす。夫婦力を合わせて、これからも一生懸命張ります」と謝辞を述べました。

お年寄りと子供たちの
楽しいひととき



子供会が老人を招いて『納涼の夕べ』

長岡三島の明星子供会は八月三日、老人クラブ南国長命会員を招いて『納涼の夕べ』を催した。

この日は、子供会育成者の磯井佐さんと共に午前六時から部落の運動場の除草、国分川の清流での水泳大会。そして夕方六時からは老人を招いて『納涼の夕べ』を開いた。

竹身 行信(70)・里見(72)	前 浜	朝田 盛(73)・豊子(75)	下野田
高木 万(70)・亀井(70)	浜改田	松浦 豊茂(70)・政尾(74)	上末松
浜田 熊衛(73)・豊子(75)	〃	西村 義雄(75)・花雪(69)	東 崎
三谷 巍(74)・雪野(68)	里改田	松岡 輝義(72)・春子(68)	〃
土居 建留(72)・菊寿(70)	十 市	森下 只枝(74)・文(70)	〃
井上 良幸(74)・芳子(70)	稻 生	岩川 忠治(79)・善美(72)	国 分
田内 留喜(76)・ツルエ(69)	〃	岸本 正喜(72)・秀尾(70)	植 野
松本 正男(73)・磐(69)	片 山	坂本 清男(75)・妙子(72)	宍 崎
大西 利秋(74)・しげ(77)	大塙 乙	池知 秋水(72)・静(69)	三 畠
小松 勝美(78)・千鶴(70)	大塙 甲	岩原 勇(77)・美幸(68)	中 谷
関田 通暢(73)・亀寿(68)	大塙 乙	植田 速美(73)・香雪(71)	小 蓼
田島 正則(72)・芳(67)	〃	唐岩 佐京(78)・英(73)	〃
中沢 三郎(75)・百喜(71)	大塙 甲	田中 寅儀(73)・静子(69)	中 島
久家 亀彦(78)・留喜(74)	田 村	山崎 勉(74)・尋(69)	〃
北村 薫(73)・初猪(67)	立 田	山本 弘吉(75)・久恵(68)	浦 原
竹島 末喜(72)・卓子(65)	〃		

まず、二、三日前から老人にゲートボールの手ほどきを受けた四歳以上の子供会員が二チームを編成、老人と対抗戦をした。老人に指導を受けつつゲームであったが、子供会の勝利となつた。それから運動場の夜間照明のもと、アイスクリーム、焼鳥、綿菓子、おむすびコナードなどが開かれ、子供と父母の盆踊りを楽しんで「こんなうれしいことはない、今夜はゆっくり眠れる」と、孫の手に引かれて帰っていた。

それから運動場の夜間照明のもと、アイスクリーム、焼鳥、綿菓子、おむすびコナードなどが開かれ、子供と父母の盆踊りを楽しんで「こんなうれしいことはない、今夜はゆっくり眠れる」と、孫の手に引かれて帰っていた。

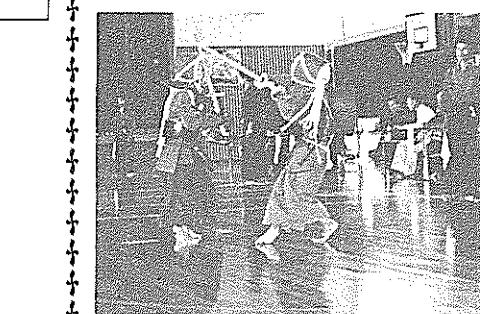
長岡三島の明星子供会は八月三日、老人クラブ南国長命会員を招いて『納涼の夕べ』を催した。

この日は、子供会育成者の磯井佐さんと共に午前六時から部落の運動場の除草、国分川の清流での水泳大会。そして夕方六時からは老人を招いて『納涼の夕べ』を開いた。

まず、二、三日前から老人にゲートボールの手ほどきを受けた四

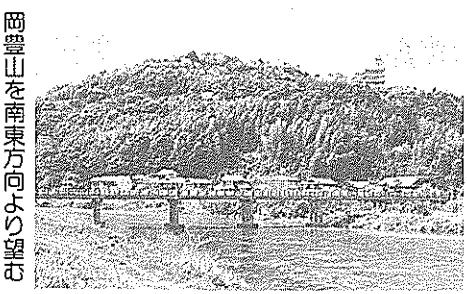
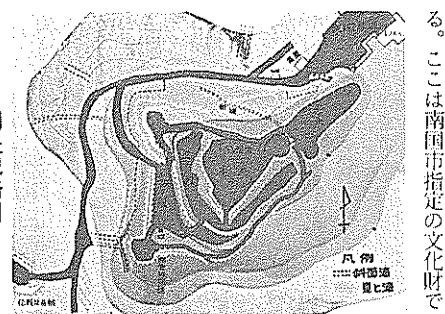
豆劍士が熱戦

団体戦は大篠が制す
～第3回少年剣道大会～



文化財をたずねて④

岡豊城跡



があり、二条の空堀が掘られています。ここは南国市指定の文化財です。

秦能俊が、信濃から土佐の長岡郡宗部郷今岡の岡豊の地に入り、子孫は長宗我部氏を名乗つてここを根拠とし、やがて西方の岡豊山に城を築いた。

第一の郭はいわゆる本丸で標高九十七点二の丸が東方に突出し、その間に土塁と堀の跡や井戸などが現存している。本丸の西斜面には、三の段、四の段の郭が細長く南北につくられている。この付近一帯は県指定の文化財である。

本丸から西南へ鞍部を隔てて二百八十のところに、跡と呼ばれる郭

があり、これが第二の郭群である。

第三の郭は家老屋敷と言われ、本丸の約一百㍍南に独立してつくられている。第一、第三の郭は出丸で、西と南からの攻撃に備えたものである。

長宗我部氏は、兼序、国親、元親の三代が名高い十九代兼序は、永正五年（一五〇八）本山山田、吉良大平氏の連合軍に攻められ、城と運命をともにした。

兼序の子国親は、幡多の一条房家のもので成長し、永正十五年（一五二〇）に天正三年（一五七五）には土佐を平定しこそて天正十三年（一五八五）には四國を制圧したが、豊臣秀吉と戦つて敗れ、からじて土佐二国を保つことができた。

しかし元親は、天正六年に城を天高坡に移したので、岡豊は冬野が

原とさびれていた。

第一の郭はいわゆる本丸で標高九十七点二の丸が東方に突出し、その間に土塁と堀の跡や井戸など

が現存している。本丸の西斜面には、三の段、四の段の郭が細長く南北につくられている。この付近一帯は県指定の文化財である。

本丸から西南へ鞍部を隔てて二

百八十のところに、跡と呼ばれる郭

があり、これが第二の郭群である。

第三の郭は家老屋敷と言われ、本丸の約一百㍍南に独立してつく

られている。第一、第三の郭は出

丸で、西と南からの攻撃に備えた

ものである。

長宗我部氏は、兼序、国親、元

親の三代が名高い十九代兼序は、永正五年（一五〇八）本山山田、吉良大平氏の連合軍に攻められ、城と運命をともにした。

兼序の子国親は、幡多の一条房

家のもので成長し、永正十五年（一五二〇）に天正三年（一五七五）には土

佐を平定しこそて天正十三年（一五八五）には四國を制圧したが、豊臣秀吉と戦つて敗れ、からじて

土佐二国を保つことができた。

しかし元親は、天正六年に城を天

高坡に移したので、岡豊は冬野が

原とさびれていた。

第一の郭はいわゆる本丸で標高九十七点二の丸が東方に突出し、その間に土塁と堀の跡や井戸など

が現存している。本丸の西斜面には、三の段、四の段の郭が細長く南北につくられている。この付近一帯は県指定の文化財である。

本丸から西南へ鞍部を隔てて二

百八十のところに、跡と呼ばれる郭

があり、これが第二の郭群である。

第三の郭は家老屋敷と言われ、本丸の約一百㍍南に独立してつく

られている。第一、第三の郭は出

丸で、西と南からの攻撃に備えた

ものである。

長宗我部氏は、兼序、国親、元

親の三代が名高い十九代兼序は、永正五年（一五〇八）本山山田、吉良大平氏の連合軍に攻められ、城と運命をともにした。

兼序の子国親は、幡多の一条房

家のもので成長し、永正十五年（一五二〇）に天正三年（一五七五）には土

佐を平定しこそて天正十三年（一五八五）には四國を制圧したが、豊臣秀吉と戦つて敗れ、からじて

土佐二国を保つことができた。

しかし元親は、天正六年に城を天

高坡に移したので、岡豊は冬野が

原とさびれていた。

第一の郭はいわゆる本丸で標高九十七点二の丸が東方に突出し、その間に土塁と堀の跡や井戸など

が現存している。本丸の西斜面には、三の段、四の段の郭が細長く南北につくられている。この付近一帯は県指定の文化財である。

本丸から西南へ鞍部を隔てて二

百八十のところに、跡と呼ばれる郭

があり、これが第二の郭群である。

第三の郭は家老屋敷と言われ、本丸の約一百㍍南に独立してつく

れている。第一、第三の郭は出

丸で、西と南からの攻撃に備えた

ものである。

長宗我部氏は、兼序、国親、元

親の三代が名高い十九代兼序は、永正五年（一五〇八）本山山田、吉良大平氏の連合軍に攻められ、城と運命をともにした。

兼序の子国親は、幡多の一条房

家のもので成長し、永正十五年（一五二〇）に天正三年（一五七五）には土

佐を平定しこそて天正十三年（一五八五）には四國を制圧したが、豊臣秀吉と戦つて敗れ、からじて

土佐二国を保つことができた。

しかし元親は、天正六年に城を天

高坡に移したので、岡豊は冬野が

原とさびれていた。

第一の郭はいわゆる本丸で標高九十七点二の丸が東方に突出し、その間に土塁と堀の跡や井戸など

が現存している。本丸の西斜面には、三の段、四の段の郭が細長く南北につくられている。この付近一帯は県指定の文化財である。

本丸から西南へ鞍部を隔てて二

百八十のところに、跡と呼ばれる郭

があり、これが第二の郭群である。

第三の郭は家老屋敷と言われ、本丸の約一百㍍南に独立してつく

れている。第一、第三の郭は出

丸で、西と南からの攻撃に備えた

ものである。

長宗我部氏は、兼序、国親、元

親の三代が名高い十九代兼序は、永正五年（一五〇八）本山山田、吉良大平氏の連合軍に攻められ、城と運命をともにした。

兼序の子国親は、幡多の一条房

家のもので成長し、永正十五年（一五二〇）に天正三年（一五七五）には土

佐を平定しこそて天正十三年（一五八五）には四國を制圧したが、豊臣秀吉と戦つて敗れ、からじて

土佐二国を保つことができた。

しかし元親は、天正六年に城を天

9 10

市民カレンダー

9月24日から10月10日まで

●健康相談など

内 容	地 区	日	曜	受付 時間	場 所	対象
1歳6ヶ月児健診	全地区	22	木	1:00~1:30	大篠地区公民館	
健 康 相 談	黒 滝	27	火	10:00~11:30	黒滝公民館	
	久礼田	28	水	1:30~3:00	久礼田中北公民館	
成人食講習会	三 和	29	木	1:30 集合	三和地区公民館	
乳 腺 検 診	前浜、久枝	26	月	午前	南部福祉館	個人 通 知 者 の み
	日章、岩村			午後	日章地区公民館	
	後免、野田	29	木	午前	後免町公民館	
	大 篠			午後	大篠地区公民館	
	国 府	30	金	午前	市農協国府支所	
	久礼田、帆岩			午後	久礼田地区公民館	
	浜改田	21	土	午前	浜改田出荷場	
	長岡東部	3	月	午前	長岡東部公民館	
	" 西部			午後	中央福祉館	
	稲 生	6	木	午前	稲生地区公民館	
	三和、十市			午後	三和 "	
	奈 路	7	金	午前	奈路公民館	
	岡 豊			午後	岡豊地区公民館	
	白木谷	8	土	午前	白木谷公民館	
3歳児健診	岡豊、白木谷	3	月	1:30~2:15	岡豊地区公民館	個人通 知者のみ
乳幼児相談 歯 科 "	後免、野田	3	月	1:30~4:00	社会福祉センター 保健婦室	
	大 篠 東崎西部					
乳幼児相談	十 市	3	月	1:00~3:00	十市支所	
健 康 "	稲 生	7	金	"	稲生地区公民館	

※レントゲン検診の日程は6ページに出ています。

●金属類の収集

日	曜	地 区	備 考
21	水	十市、三和	第3水曜日
27	火	物部、稻生	第4火曜日
28	水	大篠	第4水曜日
14	火	野田、後免	第1火曜日
5	水	長岡	第1水曜日

●金属類以外の不燃物の収集

日	曜	地 区
21	水	後免(西町、栄町)
22	木	植田、久礼田
23	金	植野、領石
24	土	瓶岩、上倉
26	月	國府、岩村
27	火	笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原
28	水	中島、常通寺島、江村、小籠、三軒家
29	木	十市北部
30	金	収集地区なし
1	土	田村
3	月	十市南部
4	火	里改田、片山
5	水	浜改田
6	木	前浜、下島、久枝
7	金	立田
8	土	篠原、明見
10	月	物部

●休日在宅医

日	曜	当 番 医	電 話
23	金	曾根産婦人科(大塙)	③5318
25	日	西田順天堂内科(大塙)	③1881
12	日	南国病院(大塙)	④3137
9	日	吉川診療所(植野)	②0100
10	月	柴田外科(大塙)	④3412

南国市役所……〒783南国市大塙甲2301 ☎3-2111(代)

領石支所☎2-0020 岡豊支所☎4-2423 十市支所☎5-8401
水道局☎3-1234 市民体育館☎4-3498